

風 に恵まれ

光 をいっぱい浴び

明 るい未来を築き

美 しい自然を守る

そんな六ヶ所村を訪ねてみませんか。

ROKKASHO

Rokkasho



発行/六ヶ所村
〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駁字野附475番地
TEL. 0175-72-2111 (代)
ホームページ <http://www.rokkasho.jp>
編集/六ヶ所村 企画調整課



観光

Sightseeing Products

物産

海と大地の恵みに注がれる、作り手たちの工夫と愛情。
 栄養満点の素材を存分に味わえる、心込めた特産品の数々。



スバハウス ろっかぽっか (P18/B-5)
 露天風呂はもちろんのこと、和室付貸切風呂やきつぷるなどアイデアいっぱいのおもしろいお風呂が大集合。泉質はナトリウム・カルシウム-塩化物泉（低張性弱アルカリ性高温泉）で疲れた身体を癒せます。お風呂上がりには、無料休憩所やカラオケ、レストラン、マッサージなど家族みんなが、まるまる一日楽しめる日帰り温泉施設です。
 住所／青森県上北郡六ヶ所村大字鷹架字内子内337 TEL.0175-69-1126 FAX.0175-69-1131
 営業時間／午前10時～午後9時(入浴締切午後8時30分) Web <http://www.roccapocca.com/>



ショッピングモール REEV(リーブ) (P18/C-4)
 リーブのテナントの一つ「マエダストア」の一角には、六ヶ所産の農産物コーナーが設置されています。このほか、買い物客の休憩コーナーや子どもたちが遊べるスペース、エネルギーについて学べる広報スペースなどがあります。
 住所／青森県上北郡六ヶ所村大字尾駮字野附1-68
 TEL.0175-72-3061 FAX.0175-72-3692
 営業時間／午前10時～午後8時(マエダストア 午前9時～午後9時)



六趣醸造工房 (P18/B-5)
 製造・販売元：六趣醸造工房 六ヶ所地域振興開発株式会社
 青森県は日本一の長いも生産地です。「日本一の長いもだからきつとうまい焼酎ができる」その想いから研究を重ね、自然豊かな六ヶ所産の長いもを原料に、本格長いも焼酎「六趣」が生まれました。
 住所／青森県上北郡六ヶ所村大字鷹架字内子内337-3
 TEL.0175-71-3335 FAX.0175-71-3336
 営業時間／午前10時～午後3時 Web <http://rokushu.com/>



こだわりの特産品



イカやサケの珍味を頬張ったら、「六趣」をぐっとそそぎ込む口の中に広がる深い味わいが、至福のひとときを演出します

新鮮なイカを船上で醤油漬けにした「いか沖漬」や、甘く濃厚な味で評判の高い泊産の「塩ウニ」などの水産加工品、六ヶ所産長いもを使った「とろろ饅頭」、ウニや昆布を使った「うにようかん」・「こんぶようかん」などのお菓子をご賞味ください。

「長いも」や「小川原湖牛」は、お好みの味付けでどうぞ。



六ヶ所の食材を、六ヶ所で食す

地元食材を使ったお料理をいくつか紹介します



▲六ヶ所産を含む青森県産食材を使った「あおり彩り弁当」は事前予約必要
◀イカ天、六ヶ所産の野菜をたくさん使ったサクサクのかき揚げなど、ボリュームに圧倒される「びっくり仰天丼」/『スパハウスろっかぽっか』六ヶ所村鷹架字内子内337 TEL.0175-69-1126 Web <http://www.roccapocca.com/>

▶サケ、イクラ、昆布などの海の幸、長いも・ゴボウなどの山の幸をふんだんに使った「おぶちの牧弁当」。「奥の牧」「野がい」「あら野」の3種類がある。事前予約必要/『だるまや』六ヶ所村尾駁字家ノ前4-34 TEL.0175-72-2477



▲10月に開かれるそばまつりでは“挽きたて、打ちたて、茹でたて”の香り高いそばが味わえる。村のイベント「たのしむべ!フェスティバル」,「ろっかしょ産業まつり」で食べられるほか、『スパハウスろっかぽっか』ではそば打ち体験のプランもある/戸鎖そば



▲イクラ丼



▲イカのナポリタン(手前)、タラコの Pasta(右奥)、プリのエスカベシュ(左奥)。泊沖で獲れた魚介類を使った料理が魅力。ウニやカニのPastaなど、季節限定のメニューもある/『ラ・ベスカ』六ヶ所村泊川原75-729 TEL.0175-77-3455



▲イカ生干し焼き



▲鮭汁

こだわりの特産品



北の大地にそよぐ風が、絶妙な風味を添える
海、山、大地の恵みに、愛情をたくさん込めて

良質な水、豊かな土壌が深い味わいをつくります。
晩酌に、ごはんのお供に、ブレイクタイムに、ぜひお召し上がりください。
心込めた手づくりの、優しい味を楽しんで。



特産品は、六ヶ所原燃PRセンター(写真)(P18/B-4)、ショッピングモールREEV(リーフ)(P18/C-4)や各商店などで購入できます。



うに

泊産粒うにを使用した濃厚な味わいの逸品です。
問い合わせ先/泊漁業協同組合
TEL.0175-77-3121 FAX.0175-77-3050

長いも

長いもには、でんぷん・タンパク質・ミネラル・ビタミンCなどが多く含まれ、滋養強壮に効果があります。
問い合わせ先/JAゆうき青森六ヶ所支所
TEL.0175-75-2001 FAX.0175-75-3155

六趣(本格長いも焼酎)

商品はレギュラー(20度)のほか、3年もの「スペシャル」(35度)、5年寝かせた「六趣5年」(30度)の3種類。どれもすっきりとした味わいで、スペシャルはまるやかで甘く、六趣5年は豪快な口当たりとほのかな甘みが魅力。
問い合わせ先/六趣醸造工房(P3)
TEL.0175-71-3335 FAX.0175-71-3336

おさしみスモーク

ひらめを低温でじっくりと燻煙することによってひらめの持つ菌ごたえも残しました。
問い合わせ先/泊漁業協同組合泊水産物加工協議会
TEL.0175-77-3121 FAX.0175-77-3050

六趣せんべい

六ヶ所産長いもを生地に練りこんだせんべい。観光名所を図柄にほどした六ヶ所村ならではの商品です。
問い合わせ先/六趣醸造工房(P3)
TEL.0175-71-3335

うば玉

あん玉に、らくがんをまぶした生菓。上品な甘さでここだけでしか味わえない逸品です。
問い合わせ先/及川玉泉堂
TEL.0175-77-2168 FAX.0175-77-2168

いか沖漬

生きた真いかを船上で独自の製法により一杯一杯丹念に手作り加工してあります。
問い合わせ先/泊漁業協同組合
TEL.0175-77-3121 FAX.0175-77-3050

いくら、塩うに

甘くて濃厚な味で評判の高い泊産のウニを甘塩で、獲れたて新鮮なイクラをしょうゆで味付けした味わい深い逸品です。
問い合わせ先/松本乾物店
TEL.0175-77-2174

浜おどり(鮭トバ)などの海鮮珍味

浜おどり(鮭トバ)、さきいか、のいいか、小女子佃煮など、素材の風味を生かしたシンプルな味付けが人気。六趣などのお酒との相性も抜群です。
問い合わせ先/目代海産
TEL.0175-77-2150

ブルーベリー&いちご ジャム・ソース・ジュース

自家栽培のかけはしの畑で収穫されたブルーベリーといちごでジャムやソース・ジュースを作りました。小さな果実に真心をこめておいしさをお届けします。
問い合わせ先/社会福祉法人松緑福祉会
障害者支援施設 かけはし寮
工房フエンテ TEL.0175-72-4880

めっぼうどん、しほりしをから など

「めっぼう」という海藻をねりこんだ「めっぼうどん」、ごぼうの風味豊かな「ごんぼほうどん」のほか、生干しのイカで作った「しほりしをから」、鮭を甘酢でダイコンなどと合わせた「鮭なます」、「長芋千枚漬」など、泊漁港の「おっかあ」(おっかあさん)たちの味をご賞味ください。
問い合わせ先/ろっかしよ村おこし和(なごみ)の工房
TEL.0175-77-3016

うにようかん、ごま六 など

香りの良い昆布粉を使った「こんぶようかん」、風味豊かな泊産ウニの「うにようかん」はほのかな磯の香りが好評。「ブルーベリーチーズろ〜る」は県産のブルーベリー、「ごま六」は青森米つがるロマン、「とろろ饅頭」は六ヶ所村産長芋を練り込んだ白あんを使用しています。六ヶ所や青森県の味を堪能できる人気のスイーツです。
問い合わせ先/遠田秋月堂
TEL.0175-77-2321
Web <http://www.syuge2.com/>

ななくら秋冬にんじんジュース

秋から冬へと季節が移り変わる頃に収穫された甘いにんじんを使った100%のジュースです。「え? コレがにんじん?」と思うほどのフルーティな味わいを楽しんでください。
問い合わせ先/有限会社マルヨシ
TEL.0175-75-2526

小川原湖牛

小川原湖牛は、六ヶ所村第5庄内地区などの自然豊かな牧場で、適正な飼料管理のもと生産者から愛情を注がれ育成・肥育されたブランド牛。柔らかい肉質が特徴です。(産直通年)
問い合わせ先/(農)岡山牧場
TEL.0175-68-2311
FAX.0175-68-2222

六景薬市(ろっけいじゆ)とは…?
六ヶ所村、三沢市、野辺地町、東北町、東通村、横浜町の6市町村による地域ブランドです。私たちの地域の恵みを、安心して味のこだわりをもってお届けします。
Web <http://rokkai.jp/> facebook #六景薬市

○たのしむべ!フェスティバル(花火とレーザー光線と音楽の競演)



祭り Festivals Events イベント

四季を楽しみ、自然を敬い、まつりに心躍らせる——。
喜びと感動を共有し、深まる絆、広がる交流の輪と、和。

●ろっかしよ産業まつり(鮭のつかみ取り)



▲たのしむべ!フェスティバル



▲ろっかしよ産業まつり
「牛肉バーベキュー」



▲異文化交流フェア



▲泊例大祭



▲戸鎖新そばまつり



▲村民文化祭

地元の伝統的な行事だけでなく、国内外の人々が繰り広げる国際色豊かなイベントも多く開かれています。村全体で盛り上がる祭りや住民同士の交流を深めるイベントもあり、毎年たくさんの来場者で賑わっています。

たのしむべ!フェスティバル(5月第二土・日曜日)

県南で春一番に打ち上げられる花火をはじめ、キャラクターショーや、タレントによるステージショーなど、大人も子どもも楽しめる様々なイベントが催され、県内各地から訪れる人で賑わいます。

泊例大祭(7月18~20日)

三日間にわたって行われる貴宝山神社と諏訪神社による合同の祭り。神輿や山車が町内を練り歩く「神輿渡御」や、漁師たちによる「海上安全・大漁祈願祭」などが行われます。「港祭り」では出店が並び、会場では獲れたてのウニが調理されるなど、港の伝統と風情を存分に味わうことができる祭りです。

戸鎖新そばまつり(10月最終日曜日)

新そばの季節に開かれる地域住民手づくりのそばまつり。茅葺屋根の水車小屋が建つどこかな農村風景を眺めながら、「そばの三立て」(挽きたて、打ちたて、茹

でたて)の香り高いそばが味わえます。

村民文化祭(10月下旬~11月上旬)

芸術の秋に行われる一大文化祭。ダンス、演奏、文化教室など、この日に向けて1年間切磋琢磨してきただけあって、披露する方も鑑賞する方も真剣です。

ろっかしよ産業まつり(11月第一土・日曜日)

豊かな収穫と豊漁に感謝して秋に催されます。農海産物の販売やバーベキュー、活きのよい鮭を素手で捕まえるイベントなどで大いに盛り上がります。

異文化交流フェア(開催時期未定)

国際色豊かな村を象徴するイベントで、村内在住の外国人が国別のブースで自国の文化や料理を紹介します。来場者が各国のブースで、それぞれの言語でのあいさつや会話、試食を楽しむなど、一度にいろいろな国を旅した気分になれる人気のイベントです。





エネルギー

過去・現在・未来のエネルギーを体感し、自然との共生をイメージ。
豊かな自然を受け継ぐために、次代を担う子どもたちへ学びの場を提供する。



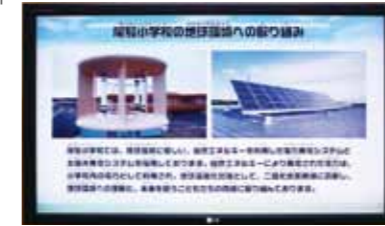
東北大学出前授業／東北大学大学院工学部工学研究科の協力により、村内の小・中学校でエネルギーや科学についての出前授業を実施しています



ウィンドファーム(大規模風力発電施設)



ウィンドデイ/風車の頂上にある“ナセルの構造”を学ぶ子どもたち



発電状況モニター/太陽光・風力の発電量やCO₂削減量などがチェックできるモニターを設置し、子どもたちのエネルギーや環境意識を養います(尾駈小学校ホール)



東北大学大学院量子エネルギー工学専攻六ヶ所村分室/「高レベル放射性廃棄物の高度分離」「放射性同位元素の高度利用」といった新原子力利用の研究が行われているほか、同大学院工学研究科量子エネルギー工学専攻の社会人大学院生教育を行っています



六ヶ所原燃PRセンター/「地球環境とエネルギー」や「放射線」について楽しく遊びながら学べます

六ヶ所村から考えるエネルギーの未来

地域特性を生かしつつ、いかにして新エネルギーを取り入れ、活用していくかを明確にするために、村は地域に潜在する新エネルギーを活用し、環境と調和した地域づくり、地域の持続的発展、地球環境の保全など、快適で便利な生活環境を創出することをめざします。

資源の少ない日本は、もちろん従来の石油エネルギー依存からいち早く脱却しなければなりません。そのためにも、産学官一体となって新エネルギーの開発に取り組んでいく必要があります。その環境が整っている六ヶ所村だからこそ、エネルギーの村の使命として、今後ますます新エネルギーの活用に責任をもって取り組んでいきます。

エネルギーの村を担う、人材の育成

エネルギー関連施設が集積されている村の地域特性を生かし、人材育成が行われています。

東北大学大学院工学部の協力により、村内の小・中学校でエネルギー・科学をテーマにした出前授業が行われているほか、村内中学生に東北大学のオープンキャンパスなどの見学や大学生との交流体験を提供しています。

また、風力発電の事業者が「ウィンドデイ」にちなんだイベントを開催し、村の子どもたちが発電の仕組みや風力発電の仕事を学んでいます。

エネルギーの村の次代を担う子どもたちに、学びの場を積極的に提供しています。

最先端エネルギーを知るために「次世代エネルギーパーク」を見学に行こう！

地球温暖化問題の深刻化や燃料価格の高騰を背景に、太陽光・風力・バイオマスなどの新エネルギーの拡大が急がれています。六ヶ所村では、新エネルギーをはじめとする次世代エネルギーを、多くの人に見て・触れて・理解を深めてもらおうと、エネルギー関連施設をつないで「次世代エネルギーパーク」を運営しています。



見学や体験学習を通して次世代エネルギーの理解を深める。

3つのコンセプト

①体験型情報発信

来場者が次世代エネルギーを実際に見て触れることができる「体験」を通じて理解を深められるパーク。

②旧・今・新のエネルギー

過去や現在、未来のエネルギーについて時代背景やエネルギー構造、その移り変わりをたどりながら、エネルギーの重要性について理解できるパーク。

③自立×協調型の事業運営

各施設は自立性を維持しつつ、情報、来場者へのサービス提供では施設間が密に連携するパーク。

ホームページからお申込みいただけます。



<http://www.rokkasho.jp/6energypark/>

見学ツアーのお申込み方法

- 見学予約フォームで必要事項を記入し、見学希望日の4週間前までに、インフォメーションセンターへ送信
- インフォメーションセンターで見学申請の内容を確認し、見学希望の事業所へ問合せ連絡
- インフォメーションセンターで見学の確認がとれましたら、見学申請者様と事業所に仮予約の連絡
- 見学申請者様は、仮予約の連絡を受けましたら、一週間以内に事業所へ連絡を入れ、事業所の指示に従い正式予約
- 事業所で見学申請者様からの正式予約の連絡を受け、見学手続きが終了

センター&パークツアー

エネルギーパークを訪れる人々の窓口となるセンター機能と各施設をつなぐパークツアーを整備・運営します。

先進的風力産業の集積



石油備蓄基地

●むつ小川原国家石油備蓄基地

核融合エネルギー研究開発

●国際核融合エネルギー研究センター

原子燃料サイクル

●六ヶ所原燃PRセンター

放射線安全研究

●(公財)環境科学技術研究所

化石燃料

ウィンドファーム (大規模風力) 発電施設

- 日本風力開発グループ (二又風力開発(株)、六ヶ所村風力開発(株)、吹越台地風力開発(株))
- エコパワー(株) (むつ小川原ウィンドファーム)
- 陸栄風力発電所

クリーンエネルギー自動車普及

自然エネルギー

太陽光発電

- エネワンソーラーパーク六ヶ所村
- 六趣醸造工房太陽光発電システム
- ユーラス六ヶ所ソーラーパーク

トリジェネレーション

●(株)フローリテックジャパン

バイオマス関連施設

次世代ニュータウン

むつ小川原国家石油備蓄基地 (P18/A-4)

緊急時における石油の安定供給確保を目的に、国家石油備蓄事業の第一号として1983年に操業開始。現在、51基の原油タンクには、我が国の石油消費量の12日分の原油を備蓄しています。



陸栄風力発電所 (P18/A-5)

陸栄風力発電所は国産の大型風車5基にて運営しています。総発電出力は10,000kWで、村内の全世帯数に相当する約5,000世帯が1年間に消費する電力量を発電しています。風車の周囲では村特産の長芋や、家畜に食べさせる牧草やデントコーンの作付けが行われております。



六趣醸造工房 太陽光発電システム (P18/B-5)

六ヶ所村の特産品でもある長いもを使った本格焼酎「六趣」を製造する六趣醸造工房でも、2012年4月、敷地内に太陽光発電システムを設置し、運用を開始しました。装置としては、最も生産されている多結晶型太陽電池モジュールを採用。定格出力10kW×2基の合計20kWを発電します。



二又風力開発(株) / 六ヶ所村二又風力発電所 (P18/B-4)

六ヶ所村二又風力発電所は大型風車34基からなる大容量蓄電池併設発電所です。一般的な風力発電は、風速によって発電機出力に変化が生じ、送電電力も変動しますが、蓄電池併設風力発電は、常に一定の電力を送電することができます。使用されているNAS (ナトリウム硫黄) 電池は、エネルギーロスが少なく、耐久性・環境性にも優れています。



六ヶ所原燃 PR センター (P18/B-4)

ウラン濃縮工場、低レベル放射性廃棄物埋設センター、高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター、再処理工場などの「原子燃料サイクル施設」を大きな模型や映像、パネルで分かりやすく紹介するとともに、原子燃料サイクルに関係の深い原子力放射線のコーナーもあります。



(公財)環境科学技術研究所 (P18/C-4)

「原子力と環境のかかわり」をテーマに、主に放射線や放射性物質の環境中における分布と生物への影響を調査研究しています。得られた情報は地域住民へ公開しています。



エネワンソーラーパーク六ヶ所村 (P18/B-4)

(株)サイザンと、森和エナジー(株)が共同で運営する大規模太陽光発電事業所(メガソーラー)。14,336枚のパネルを設置し、2013年9月から運転開始。年間予測発電量は240万kWhを想定しており、一般家庭650世帯分の年間消費電力に相当します。(太陽光パネルの最低地上高:12m 角度:30度)



ユーラス六ヶ所ソーラーパーク (P18/C-5)

ユーラス六ヶ所ソーラーパーク(11万5,000kW/交流)は六ヶ所村の鷹架地区、千歳平北地区で東京ドーム約50個分に相当する253ヘクタールに、約51万枚の太陽光パネルを設置した大規模太陽光発電所です。現在操業中(※2016年2月時点)の太陽光発電設備の中では国内最大規模で、総発電量は一般家庭の約3万8,000世帯が消費する電力量に相当し、年間約7万トンの二酸化炭素の削減効果が見込まれます。



むつ小川原ウィンドファーム (P18/B-4)

一年を通して風の強い地域の特性を活かし、むつ小川原ウィンドファームでは、風車21基が運転され総発電出力31,500kWを誇っています。年間では約5,800万kWhを発電し、これは標準家庭約16,600世帯分が一年間に消費する電力量に相当します。



国際核融合エネルギー研究センター (P18/B-4)

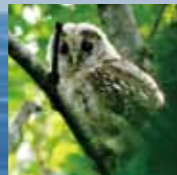
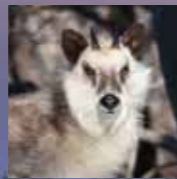
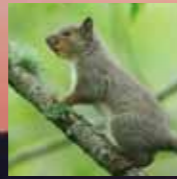
日本と欧州などとの間で核融合エネルギーの開発を目指す「国際共同プロジェクトITER計画」が進められ、日欧による幅広いアプローチ協定に基づき原型炉 (ITERの次世代炉) 実現に向けた「幅広いアプローチ活動」が行われています。



(株)フローリテックジャパン (P18/C-4)

「トリジェネレーションシステム」によって、2万㎡もの栽培温室で、花き鉢物を生産・販売しています。天然ガスへの切り替えとトリジェネレーションの導入により、年間約900tのCO₂排出量を削減しています。





野生動物撮影
一戸一見氏

自然

Nature

生命の息吹に満ちあふれる美しい自然、そこに棲む愛しいものたち。
古来続くこの営みを、私たちは守り育てていかなければならない。



いっこ庵／そば畑の中にたたずむ
葺きの水車小屋 (P18/B-4)



鷹架沼の夕景／六ヶ所村の中で
1番大きい沼 (P18/B-4)



村の花にもなっているニッコウ
キスゲ。他にも多種の自生植物
が群生している



滝の尻大滝／泊海岸のすぐそばにあり、落差は
およそ6~7m。波と滝の音が重なり、涼しげ
な風景をつくりだしている (P18/C-1)



六ヶ所村の広大な自然／畜産や林業にもその
恩恵をもたらしている



小川原湖とマテ小屋／現在は見られなくなったマテ漁だが、マテ小屋はそのま
まの形で残されている (P18/B-6)



タタミ岩／泊の海岸には、波の浸食が創り出した奇岩が多く見られる (P18/C-1)

自然を守り、そして受け継いでいく

昔から六ヶ所村の人々は、農耕や漁を通して自然を愛し、その恩恵を受けて暮らしてきました。

時代は流れ、人の生活のあり方が変わった今もその想いは受け継がれています。

人間の利便性、近代化だけを追い求めず、共存していくために、世界的にも絶滅のおそれがある動植物を保護し、生息環境を整え、美しい景観を守ってきました。

その結果、六ヶ所村では今も多くの生き物と雄大な自然の姿を見ることができます。

6つの湖沼と太平洋の水景のまち

太平洋に沿って南北に伸びる六ヶ所村には、尾駮沼・鷹架沼・市柳沼・田面木沼・内沼・小川原湖という、実に多くの湖沼が点在しています。尾駮沼、鷹架沼の一部及び小川原湖は淡水と海水が入り交じる汽水湖、また、市柳沼・田面木沼・内沼は淡水湖であることから、それぞれに多様な動植物が生息する希少生物の楽園となっています。

また、泊の海岸にはタタミ岩と呼ばれる奇岩が存在し、その回りでは滝の尻大滝

や、岩の裂け目から突然潮が吹き上がる「ポットアゲ」を見ることができます。

さらに泊の北、物見崎は波の浸食によって形づくられた岬で、その先端に建つ白い灯台は行き交う船の目印となっています。

湖沼群を中心に希少な動植物

湖沼群を中心に、六ヶ所村には珍しい鳥類が生息しています。カンムリカイツブリの繁殖は、1972年に市柳沼で日本で初めて確認されました。ほかにオジロワシ・オオワシ・オオセッカなど、レッドデータブック（絶滅危惧種をまとめた本）に掲載されているものも少なくありません。このほか、産卵のため尾駮沼に遡上する「尾駮ニシン」は、汽水に入るニシンとして全国的に珍しいといわれています。

さらにこの地域では、カワトンボ・イトトンボ・ムカシトンボなど、珍しい昆虫も観察できます。

植物ではニッコウキスゲ・サワギキョウ、エゾミソハギやエゾリンドウなどが咲き、見る人の目を楽しませてくれます。六ヶ所村は北方系と南方系の植物が両方見られるため、学術的にも貴重な場所です。





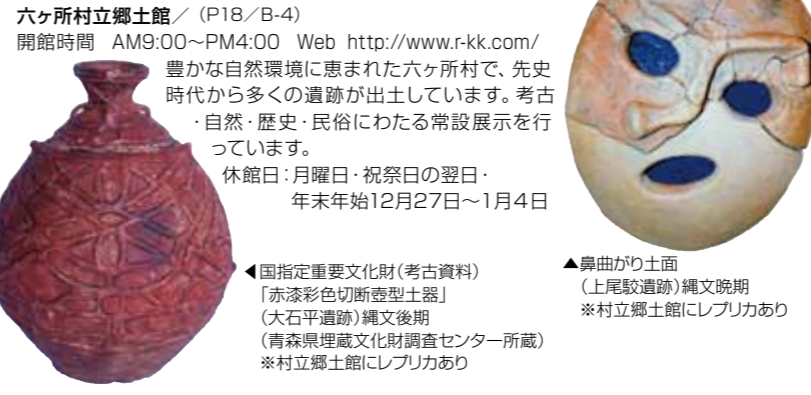
歴史 History 伝統 Tradition 文化 Culture

歴史、伝統、文化という財産を、誇りとともに未来へ受け継ぐ。
多様な産業の進展と人々の交流が、新しい文化を生み、村を彩る。

●泊例大祭



▲茶道を体験するドイツ・ヴァーレン市の訪問団



六ヶ所村立郷土館 / (P18/B-4)
開館時間 AM9:00~PM4:00 Web <http://www.r-kk.com/>
豊かな自然環境に恵まれた六ヶ所村で、先史時代から多くの遺跡が出土しています。考古・自然・歴史・民俗にわたる常設展示を行っています。
休館日：月曜日・祝祭日の翌日・年末年始12月27日~1月4日

◀国指定重要文化財(考古資料)
「赤漆彩色切断壺型土器」
(大石平遺跡)縄文後期
(青森県埋蔵文化財調査センター所蔵)
※村立郷土館にレプリカあり

▶鼻曲がり土面
(上尾駱遺跡)縄文晩期
※村立郷土館にレプリカあり



▲六ヶ所村と韓国ヤンヤン郡の少年たちのサッカー交流

地名の由来

六ヶ所村は、明治の町村制施行で六か村が統一して誕生した村です。古来、この地は名馬の産地として知られており、鎌倉時代に「生食(いけづき)」という名馬が、源頼朝の軍馬となりました。

村のそれぞれの地名が馬に由来するという伝記が200年ほど前の文献に残されており、馬の出たところが「戸出(とで)」、身丈が鷹狩場の架のようだったので「鷹架(たかほこ)」、背中が沼のように平らだったので「平沼(ひらぬま)」、尾が斑になっているので「尾駱(おぶち)」。さらにその馬に鞍を打ったので「倉内(くらうち)」、鎌倉へ引き渡すために泊まったところが「泊(とまり)」となったと伝えられております。

縄文遺跡

ここ六ヶ所村には富ノ沢遺跡や大石平遺跡など、145カ所もの遺跡があります。青森県内でも最大級の集落跡と思われる遺跡、富ノ沢遺跡は4700年前から4000年前にかけて、約500軒からなる大集落であったと考えられています。また、縄文後期の大石平遺跡からは、集落跡とともに、子供の手形や足形などが発見されています。これらの遺跡は、縄文の暮らしを知る上で大変貴重な資料です。

文化・国際交流

六ヶ所村では、文化交流プラザ「スワニー」や公民館を活用し、外国語教室をはじめ、茶道などだれもが参加できる文化教室を実施しています。また、ふるさとを見つめ直し、地域づくりに役立てるため、講師を招いて講習会「郷土大学」を開催し、村民が村の魅力を再発見

し、地域に誇りをもてるよう活動を支援しています。村では、友好都市であるドイツ・ヴァーレン市や、友好交流を続けている韓国・襄陽(ヤンヤン)郡と文化・ホームステイ・スポーツ交流をしているほか、子どもたちにオーストラリア・アメリカでのホームステイ体験を提供しています。

また、村に居住する外国人研究者や家族との交流も増えており、「国際教育研修センター」を拠点に、フランス語・ドイツ語・韓国語などの語学教室や料理教室、異文化交流フェアなどさまざまなイベントが開催され、多くの村民が交流を楽しんでいます。

六ヶ所村ならではの多様な交流を通して、国際意識の高いグローバルな精神が育まれています。



文化交流プラザ「スワニー」(P18/C-4)

住民の交流や学習のために建てられた複合施設で、研修室や会議室で村の文化団体が活動を行っているほか、スワニーが主催するコーラスや弦楽・英語などの教室があります。音響に配慮された大ホールでは、クラシックコンサートや各種アーティストの公演が開かれています。
また、併設の図書館では49,000冊の図書や3,400点の視聴覚資料を所蔵しており、ゆったりとした開架スペースで閲覧できます。郷土関係の本を集集したり、新着図書の案内を見やすくするなど、村民の要望に応じています。
六ヶ所村文化交流プラザ「スワニー」 www.jomon.ne.jp/~pulaza97/
六ヶ所村民図書館 www.rokkasho-toshjo.jp/

美しい自然がいっぱいの六ヶ所村 MAP



▲下北スリーハンドレットゴルフクラブ(B-4)



▲屋内温水プール(2017年オープン予定) (C-4 尾駱レイクタウン北地区)



▲シジミ漁 (小川原湖)

▲ワカサギ釣り(小川原湖)



▲小川原湖とマテ小屋 (B-6)

青森県最大の湖。魚種が豊富で「宝湖」と呼ばれており、縄文時代から人々がその恩恵を受け暮らしていました。今でもシジミ漁、シラウオ漁が行われ、地元の人に愛されている湖です。現在は行われなくなったマテ漁に使われていた小屋が残っています。



▲吹越烏帽子岳 (B-3)



▲大石総合運動公園 (B-4)

ニ又風力開発株/六ヶ所村ニ又風力発電所

エネワンソーラーパーク六ヶ所村

むつ小川原ウィンドファーム

睦栄風力発電所

千歳平はるき小公園

千歳中 千歳平小

六ヶ所高 千歳平

庄内

千歳

青い森酪農振興センター

市柳総合公園

スパハウス ろっかぼっか

六趣醸造工房

市柳沼

田面木沼

内沼

第二中 南小

マテ小屋

倉内

小川原湖



▲物見崎 (C-1)



▲タタミ岩 (C-1)



▲滝の尻大滝 (C-1)

自然豊かな六ヶ所村でゆとりある暮らしを実現しませんか。(C-4) 「尾駱レイクタウン北地区」分譲のご案内



『尾駱レイクタウン北地区』は、六ヶ所村の中央部にある宅地分譲地です。

同分譲地の徒歩圏内には、おぶちこども園、尾駱小学校、第一中学校、六ヶ所村医療センター、ショッピングモール「REEV」、文化交流プラザ「スワニー」(図書館併設)などさまざまな施設があります。

宅地を購入し住宅を建築される方には、*1『宅地購入助成』、*2『建築助成』など各種助成制度があるほか、住民の皆さんの子育て応援のため「子宝祝金支給」や「未来に続く健やか子育て支援事業」、「村内小・中学校の児童生徒の給食費無料化」、「村内小・中学校入学祝金給付事業」など各種事業を実施しています。

自然豊かな六ヶ所村で、ゆとりの暮らしを実現してください。

*1 ①宅地購入助成
3,800円/㎡×宅地面積

*2 ②住宅建築助成
7,500円/㎡×延床面積(上限150万円)

→分譲地の概要や各種助成制度の詳細については、六ヶ所村ホームページをご覧ください

Web <http://www.rokkasho.jp/>
(トップページ→「ライフイベント」→「住居・引越し」ページ内)

■分譲地の種類

事務用地、戸建住宅用地、集合住宅用地、戸建・商業用地

■問い合わせ先

六ヶ所村役場 企画調整課

TEL.0175-72-2111(代) FAX.0175-72-2743



■車		■東北自動車道	
六ヶ所～青森	1時間40分	八戸～盛岡	1時間30分
六ヶ所～野辺地	40分	八戸～仙台	3時間30分
六ヶ所～七戸	60分		
六ヶ所～三沢	50分		
六ヶ所～八戸	1時間20分		
■バス		■東北新幹線	
六ヶ所村役場～野辺地駅	1時間	七戸十和田～東京	3時間10分
六ヶ所泊車庫～むつターミナル	1時間30分	七戸十和田～仙台	1時間30分
六ヶ所平沼沼館～三沢駅	1時間		
■電車			
野辺地～八戸	45分		
野辺地～青森	45分		

ホテル

【名称】	【地区】	【収容人数】	【連絡先】
しょうや六ヶ所店	尾駱	52人	☎0175(72)4488
ホテル市原クラブ六ヶ所店	尾駱	120人	☎0175(72)3312
ホームイン六ヶ所	尾駱	80人	☎0175(72)2881
ビジネスホテルリッチ	尾駱	42人	☎0175(72)2333

民宿

【名称】	【地区】	【収容人数】	【連絡先】
うえの	泊	40人	☎0175(77)2472
弁天荘	泊	20人	☎0175(77)2142
みどり	尾駱	13人	☎0175(72)2777

タクシー

泊観光タクシー(泊)	☎0175(77)2270
泊観光タクシー尾駱営業所(尾駱)	☎0175(72)2224
縦貫タクシー尾駱営業所(尾駱)	☎0175(72)2339
三八五タクシー六ヶ所営業所(尾駱)	☎0175(72)4455
十和田タクシー尾駱営業所(尾駱)	☎0175(72)4440
大空タクシー六ヶ所営業所(尾駱)	☎0175(73)8573

レンタカー

いやさか自動車(株)尾駱店(尾駱)	☎0175(72)3434
トヨタレンタリース野辺地営業所(野辺地町)	☎0175(64)0100
駅レンタカー七戸十和田営業所(七戸町)	☎0176(62)5150



農業・畜産

先人の切り拓いた土地と
 広大な自然は、農業や畜産に
 その恩恵をもたらしています。

①

ヤマセ（偏東風）の影響を受ける六ヶ所村では、長いもなど、冷害に強い作物の栽培に取り組んできました。土壌や気候が根菜類に適していることもあり、いも類のほか、ゴボウや大根、にんじんなどが生産されています。六ヶ所村南側の地域では稲作も行われていますが、転作奨励の影響で水田面積は減少傾向にあります。

青森県が、出荷量・作付面積ともに全国一を誇る長いもは、六ヶ所村の特産品でもあります。生産された長いもは、全国各地に出荷されているほか、村内の工場でお菓子や焼酎などに加工され、人気を博しています。

昔から名馬の産地として知られるこの地方では、畜産業が盛んに営まれ、豊富な草資源を生かして県内最大の酪農地帯が形成されており、その豊かな自然の中でのびのびと育った牛は、わたしたちに良質な栄養を与えてくれます。



①長いも畑②大根畑③乳牛の放牧④乳牛の自動搾乳機⑤にんじん畑⑥⑦長芋洗浄選別・貯蔵施設



漁業

獲る漁業から育てる漁業へ。
 六ヶ所村は海の恵みを次の世代へと
 つないでいきます。

①

暖流と寒流が交わる六ヶ所近海は、魚介類の宝庫です。夏から秋にかけてはスルメイカ、サバなどが水揚げされるほか、冬にはサケ、ヤリイカ漁で賑わいます。また、六ヶ所村は沼や川を有するため、サケやマス、ウグイなど、海から川・沼へ回遊する魚もいます。高瀬川、小川原湖ではシジミ漁やワカサギ漁が行われています。

泊地区の磯浜では上質なウニ、アワビが収穫されるほか、昆布やわかめ、ふのりなどの海草類も豊富です。さらに次の世代へつなぐため、シジミの稚貝を放流したり、ウニやアワビの種苗を育成するなど、「育てる漁業」も展開しています。



①泊漁港②製氷施設から漁船へ直に氷を積む③魚を荷揚げし、これから出荷④小川原湖の寒シジミ漁⑤昆布の天然干しの風景⑥初夏から夏の間、解禁日に行われるウニ漁⑦刺網漁で獲れた魚の選別作業（尾駮漁港）



商工業

一次産業が支えてきた村は、
商工業との融合により、
新しい流れを生み出しています。

村内の各企業は、地域に根ざした足腰の強い商工業をめざしています。尾駮レイクタウンには、村民の利便性を考え開設されたショッピングモール「リープ」があります。村内には、特産品である長いもを加工する工場もあり、イカやサケ、ヒラメなどを使用した商品も増えたことで、より多くの人に六ヶ所村の自然の恵みを味わってもらうことができるようになりました。

また、青森県内外からの企業の工場立地を受け入れることで、周辺地域の雇用の拡大と企業の発展に貢献しています。



① ショッピングモール「リープ」② 天然ガスからの電気、熱のほかCO₂も有効活用（トリジェネレーション）した花き栽培（株式会社フローリテックジャパン）③ 村内各地で開かれるふるさと新鮮朝市。新鮮な農海産物が並ぶ④ 永木精機㈱⑤ 青森宝栄工業㈱⑥ 六ヶ所の冷涼な気候を活用したデータセンター（青い森クラウドベース㈱）



村長あいさつ

心癒される風景とエネルギーの学びの場 六ヶ所村へ、ぜひお越しください



南北33km、東西14kmの広大な大地、そして多彩な表情をもつ5つの沼。北方から飛来する白鳥などの渡り鳥や、樹木、花々が四季折々に景色に色を加えます。雄大な吹越烏帽子の麓、なだらかに広がる草原では、乳牛がのんびりと草を食み、風車や太陽光などのエネルギー施設が、自然に風景に溶け込んでいます。このおおらかな風景は、私自身も心癒されるものであるとともに、豊かな自然をまもり育てつつ、再生可能エネルギーなど自然に優しいエネルギーの先進技術を活かした産業創出を目指す、六ヶ所村の象徴的な風景でもあります。

各種エネルギー産業や研究施設が集積する六ヶ所村は「エネルギーの村」としての顔をもつ一方で、農業、酪農業、漁業などの一次産業も盛んな村です。農業は長いも、ゴボウなどのヤマセ（偏東風）に強い根菜類が主力品種として生産されており、戦後開拓により始まった酪農は県内最大の酪農地帯を形成するまでになりました。漁業では、小川原湖周辺でとれるシジミや天然ウナギ、太平洋ではイカやサケ漁のほか、ウニ・アワビなど希少価値の高い魚介類も収穫されており、どれも人気の高い特産物となっています。また、これら特産物を味わえる多彩なイベントも開催されています。

六ヶ所村には、原子燃料サイクル施設、核融合エネルギーの研究施設や風力・太陽光エネルギーなどが集積する、他に類を見ないエネルギーの学びの場があります。そして、海・山・川・湖沼に囲まれた雄大で美しい自然、自然の恵みと生産者の愛情が込められた特産物があります。

ぜひご来村いただき、村の魅力を感じてください。
皆さまのお越しをお待ちしております。

六ヶ所村長 戸田 衛